

【教員氏名】

松村 昌廣

【単位数】

4 単位

【演習概要】

毎日、テレビや新聞の国際問題に関するニュースに触れていても、よく分からないことが多いでしょう。ニュースは断片的で、十分な説明もありません。ちゃんと理解するには体系的で理論的な準備が必要です。このため、この講義は国際関係の理解に必要な理論的な思考とは何か、主要な理論にはどのようなものがあるかを、国際安全保障や国際政治経済などの諸側面に焦点を絞って教授します。また、刻一刻と変化する時事問題に具体的に触れながら、考察を深めていきます。

【学習目標】

国際政治関係を体系的に理解するために、国際政治主体、行動、過程、そして構造に注目し、激動する国際政治のダイナミズムを理論的に把握します。この講義では単に様々な理論を知るだけでなく、それを駆使して現実の国際問題を初歩的に考察する能力をつけることを目標とします。

【講義計画】

- 第1回：1 導入
 1) 国際関係論と国際関係における日本
 第2回：1-2) 国際関係論の諸分野、基礎概念及び一般システムの理解
 第3回：1-3) 社会科学における認識・方法論的論争と国際関係論
 (1) 現実主義 VS 理想主義
 第4回：1-3) - (2) 伝統主義 VS 科学主義
 第5回：1-3) - (3) 誇大理論主義 VS 個別理論主義
 第6回：1-3) - (4) まとめ
 第7回：2 総論 1) 基本的捉え方 (1) 現実主義
 第8回：2-1) - (2) 多元主義
 第9回：2-1) - (3) グローバリズム
 第10回：2-1) - (4) まとめ
 第11回：2-2) 分析のレベル (1) 政策決定システム
 第12回：2-2) - (2) 国家システム
 第13回：2-2) - (3) 国際システム
 第14回：2-2) - (3) まとめ
 第15回：前半の総括
 第16回：3 各論 1) 軍事的側面 (1) 安全保障
 第17回：3-1) - (2) 紛争
 第18回：3-1) - (3) まとめ
 第19回：3-2) 経済的側面 (貿易・金融・投資・技術・開発)
 (1) 市場機能中心主義
 第20回：3-2) - (2) 国家機能中心主義
 第21回：3-2) - (3) 資本形成中心主義
 第22回：3-2) - (3) まとめ
 第23回：3-3) 秩序づけのための組織化側面 (1) 国際法
 第24回：3-3) - (2) 国際機構
 第25回：3-3) - (3) 国際レジーム
 第26回：3-3) - (4) まとめ
 第27回：4-1) 冷戦後の国際構造
 第28回：4-2) 日本の国際行動とその将来
 第29回：全体の総括とレポート試験問題の解説
 第30回：レポート試験の解答

【成績評価の方法】

- レポート：50% 授業への積極的な参加：50%
 1) 出席・受講状態 50%
 2) 前期試験 20%
 3) 後期試験 30%
 4) 夏休みレポート 20% (希望者のみ)
 *夏休みレポート
 参考文献3冊を読み、各著者の(1) 国際政治観 (2) 国際政治学観の主要な内容について、三者を対比しながら簡潔に要約し、(3) 現在の国際情勢では、どの著者の見方が妥当か論じなさい。
 *評価の目安
 80~100% . . . A 70~79% . . . B 60~69% . . . C

【テキスト】

ポール・R・ピオティ、マーク・V・ウェッセルズ『国際関係論 - 現実主義・多元主義・グローバリズム』彩流社、

【参考文献】

E・H・カー『危機の20年』（岩波文庫）
 モーゲンソー『国際政治』（福村出版）
 シューマン『国際政治』（東大出版社）

【準備学習の指示】

テキストを予習復習に使うこと。また、参考文献にあげた書籍を読むこと。